

テーマ	取組項目	目標	主な取り組み内容	実績	評価	
3本柱	環境 負荷 低減 製品	①ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	・グリーン調達提案の促進と採用 VA展（15/10）における取組み強化	・CO ₂ 低減、3Rを重点実施 ・提案6.9件/月	△※1	
		②環境負荷物質低減に向けた技術開発	・技術部門環境関連中計テーマの推進	・テーマ進捗フォロー （1テーマ完了、2テーマ計画通り進捗）	○	
		③製品別環境負荷の管理充実	・LCA項目の把握とデータ収集	・鉄鋼の循環型LCA手法の国際標準化へ参画	○	
		④お客さまがCO ₂ 排出量低減となるエコ製品開発	・エコ製品関連中計テーマの推進	・テーマ進捗フォロー	○	
		⑤生産活動における省エネ活動の徹底	2013年～社内目標に基づく	・省エネ改善テーマの積上げと実施 ・エネルギー多消費部門の改善推進		△※2
	低炭素 社会 推進	⑥物流活動における輸送効率の追求	輸送量当たり排出量 2006年比8%削減	・動線短縮の実施 逆流解消、二重デポ解消 ・物流一元化		○
		⑦生産における副産物の低減と更なる資源の有効利用	2013年～ ・スラグフッ素規制対応埋立ゼロ ・社内目標（直接・間接埋立）に基づく	・スラグフッ素規制対応埋立ゼロ化継続 ・難選別煉瓦処理委託開始 ・廃酸汚泥委託先新規開拓		△※3
	資源 循環 向上	⑧資源循環型企業に資する事業推進	－	・トヨタGr発生金属くずの有効利用		
		⑨異常・苦情ゼロ活動推進 ・異常・苦情ゼロ	異常・苦情 0件/年	・環境法規制値の80%以下管理の徹底 ・未然防止活動（GK強化）の推進	・環境ヒヤリの運用継続	○
	環境 マネジ メント 社会 貢献	⑩連結環境マネジメントの強化	－	・研鑽会による現地現物確認 ・安環部長による国内子会社環境監査	・国内関連会社との相互研鑽会継続実施 ・環境監査継続実施	○
⑪グローバルなCO ₂ マネジメントの推進		－	・全系列子会社エネルギー使用量報告ルール化	・海外拠点事務所含め対応、運用継続	○	
⑫生物多様性への取組み		－	・NPO主催森林保全活動、東海市森づくり事業への参画 ・「カブトムシのすむ森づくり」推進	・森林保全活動参加（6月・8月） ・「カブトムシのすむ森づくり」イベント（10月）	○	
⑬環境教育活動の充実と推進		－	・階層別教育充実 ・環境ニュース等による環境意識向上	・階層別教育継続および内部監査員増強 ・環境講演会開催（6月）	○	
⑭環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実		－	・メッセナゴヤ、産業まつり等での環境貢献PR ・愛知製鋼レポートのホームページWeb化 ・記者懇談会、本社地区懇談会、刈谷地区懇談会実施	・「人とくるまのテクノロジー展」出展（5月） ・「メッセナゴヤ2015」出展（10月） ・愛知製鋼レポート発行（日本語:9月、英語:11月） ・記者懇談会（5回）・本社（12月）・刈谷（12月）	○	
⑮地域貢献活動の活性化		－	・拡大クリーンアイチデーの参加者拡大 ・社内報・ニュースアラカルト等での環境活動PR継続	・拡大クリーンアイチデー参加者810名 ・会社近隣清掃活動（4回） ・社内報・ニュースアラカルトでの環境情報発信	○	